

## Geoeconomics Summit 2024 - Improving Resilience through Rules-Based International Order-

2024年11月1日（金）9時30分－17時

### AGENDA

9:30-10:30:基調講演（半導体産業の関係者を招聘中）、地経学研究所長との対談

10:40-11:50: パネルセッション 1 - 半導体

（日本・韓国・オランダ・台湾よりエキスパートまたは政府関係者を招聘中）

半導体産業における各国の戦略はどのようなものか。米国大統領選後の規制強化の可能性、中国によるレガシー半導体における攻勢、AI や自動運転普及を見据えた今後の需給の動向を踏まえ、各国間の協調、競争領域について議論する。

12:00-13:30: ランチセッション

14:00-15:10:

パネルセッション 2 - EV と規制

（日本・EU 代表部・オーストラリアよりエキスパートまたは政府関係者を招聘中）

米国や EU が過剰生産を理由に、中国製 EV に対し関税をかけることを各国がどのように考えるか。1980 年代の日本車の「自動車輸出自主規制」との相違点、共通点は何か。グリーントランスフォーメーション推進を目的としながら、自国の EV 産業を守る理由の本質を明らかにし、米国、中国、欧州のパワーバランスについて考察する。

パネルセッション 3 - 脱炭素とテクノロジー

（日本、シンガポールより投資関係者、ベンチャー企業などを招聘中）

アジアのエネルギー市場における脱炭素への移行と投資の現状を踏まえ、トランジションを加速するための政策支援のあり方や、企業戦略について考察する。技術革新の成功事例や、社会実装、スケールアップへの課題についても触れ、アジアにおける最適な技術的、経済的アプローチについて幅広く議論する。

15:10-15:30: コーヒーブレイク

15:30-16:40:

パネルセッション 4 - クリティカルミネラル

(日本、カナダ、オーストラリアより企業関係者、政府関係者を招聘中)

クリティカルミネラルの安定供給のためにサプライチェーンの多角化は可能か。オーストラリア、カナダ、インドネシアなどの各国は、調達において中国の代替先となりうるだろうか。採掘・精錬にかかる投資コストを踏まえた現実的なオプションに加え、環境への影響や人権のような倫理的課題への対応についても議論する。

パネルセッション 5 - 多国間協力

(日本、インド、シンガポール、韓国よりエキスパートまたは政府関係者を招聘中)

ルールに基づかない単独行動主義的な動きが強まる中で、インド・太平洋にセントラリティを持たせることは、多国間の枠組みを通じて可能なのか、またどの程度の強度が望ましいのだろうか。各国、各地域で行われた選挙、これから結果が出る米国の大統領選挙が、インド・太平洋地域の安全保障、経済協力のあり方に及ぼす影響などを考察し、今後の展望について多角的に議論する。

16:45-17:00:閉会の挨拶

(※) モデレーターは地経学研究所のエキスパートまたは国際文化会館の関係者が務めます。